

HAGI
INTERNATIONAL
FESTIVAL
OF
FILM
ART

アジアは広い、まだまだ発掘されていない宝が、あちこちに埋蔵されている。今回はそんな広いアジアの中でも現在注目されている3つの映画発信地。香港を含めた中国映画、韓国映画、インド映画に絞り、それぞれの国からやってきた新作映画と、ここ2~3年の間に高い評価を得た作品の上映企画。

アジアシネマウィーク

18日 Wed. 19:00 / 萩市民館

ヤジャマン 踊るマハラジャ2

監督: R.V. ウダヤクマール
出演: ラジニカーント/ミーナ
93年 インド 165分

98年の映画界に一大旋風を巻き起こしたウルトラ・ハッピー・ムービー「ムトゥ 踊るマハラジャ」。その主演コンビ、スーパースター・ラジニカーントとミーナが、かつてないスケールの愛と感動をあなたに。豪華絢爛な歌と踊り、ナンセンスな笑いや熱いアクションも満載のインド・スーパー・エンタテインメントムービー。今年4月東京公開のヒット作品。



21日 Sat. 16:00 / 萩市民館

恋する惑星

CHUNGING EXPRESS

監督: ウォン・カーウアイ
出演: 金城 武/ブリジット・リン・トニー・レオン
94年 香港 100分

金城武ブレイクを作りだした香港ミラクル・エンタテインメント・ムービー。気まぐれで魅力的な運命にもて遊ばれるラブ・ストーリーを2本のエピソードで、構成した大ヒット作。95年香港アカデミーグランプリ、監督賞、編集賞を受賞し、香港映画界きっての実力俳優トニー・レオンは主演男優賞を受賞。



19日 Thu. 19:30 / 萩市民館

アンナ・マデリーナ

anna magdalena

監督: ハイ・チョンマン
出演: 金城 武/ケリー・チャン/アーロン・クオック
98年 香港 97分

アジアの3大スターが恋のトライアングルを演じる、淡くせつない恋愛三重奏。パッパが妻のアンナ・マデリーナに捧げた名曲が効果的に散りばめられ、自分の想いを伝えることの大切さを、一人の青年の姿に投影して描いたラブ・ストーリー。アジア映画史上最高のスタッフと豪華キャストが集結した98年香港映画最大のヒット作。金城武最新主演作品。



21日 Sat. 19:30 / 萩市民館

22日 Sun. 19:30 / 萩市民館

宋家の三姉妹

THE SOONG SISTERS

監督: メイベル・チャン
出演: マギー・チャン/ミケール・ヨー/ヴィヴィアン・ウー
97年 香港・日本合作 145分

激動の中国近代史とともに波瀾の人生を歩んだ宗家の三姉妹。長女は財閥の御曹司に嫁ぎ、次女は革命家・孫文の妻に、三女は権力者・蒋介石と結婚。今最も注目されている女性監督メイベル・チャンが挑んだ三大国際派女優の夢の競演。香港、台湾、中国の映画賞を多数受賞したアジア最高傑作。日本からも音楽に喜多郎、衣装にワダエミが参加し、ともに香港アカデミー賞を受賞。



20日 Fri. 19:30 / 萩市民館

スパイシー・ラブ・スープ

Spicy Love Soup

監督: チャン・ヤン
出演: ワン・シュエピン/リウ・チエ
98年 中国 110分

現代の北京を舞台に、少年期から初老までの異なった5組の男女の愛を描くラブ・ストーリー。オール・ロケでの撮影が、北京の現代生活に限りなく近く、新鮮で活気に充ち溢れた作品となり、中国では「タイタニック」に迫る大ヒットとなった。スタッフ全員が60年代後半の生まれで、自分たちの観たい作品を自ら作ったチャイニーズ・ニューシネマ。今年秋東京公開の超最新話題作。



22日 Sun. 16:30 / 萩市民館

祝祭

監督: 林權澤 (イム・グオンテク)
出演: 安聖基 (アン・ソング) / 吳貞孩 (オ・ジョンヘ)
96年 韓国 102分

“お葬式”を舞台に繰り広げられる様々な悲喜劇、愛や葛藤、複雑な人間模様。家族の絆や生と死の問題をみつめる暖かさがあふれている高齢化社会の現代人に贈る感動のメッセージ。韓国では「あまりに韓国的で土俗的な世界」を描いたことにとまどいの声もあったが、大ヒットとなり、各国の映画祭でも驚嘆と暖かい共感をもって迎えられた秀作。



21日 Sat. 13:30 / 萩市民館

太陽の少年

IN THE HEAT OF THE SUN

監督: 姜文 (チアン・ウェン)
出演: 夏雨 (シア・ユイ) / 寧靜 (ニン・チン)
94年 中国・香港合作 102分

舞台は70年代半ばの北京。文化大革命のさなか、大人たちは政治闘争に明け暮れ、空っぽになった都会は中学生の悪ガキたちのユートピア。ケンカやイタズラを繰り返す少年の淡い恋を巧みに描いた秀作。西洋的にして東洋的な作品の誕生といわれ、米国タイム誌の95年映画ベストテンの一位に選ばれた。主演の夏雨(シア・ユイ)は少年のあふれるエネルギーと繊細さを見事に表現し、94年ヴェネチア国際映画祭主演男優賞を受賞。



22日 Sun. 19:30 / 萩市民館

八月のクリスマス

CHRISTMAS in AUGUST

監督: ホ・ジノ
出演: ハン・ソッキュ/シム・ウナ
98年 韓国 97分

限られた時間の中で芽生えた、ひとりの青年と若い女性との優しく、切ない恋。世界中の映画祭で、涙と感動のセンセーションを巻き起こした、フレッシュでピュアなラブ・ストーリー。第19回青龍映画賞作品賞・主演女優賞など韓国内の映画賞を独占した現代韓国映画の珠玉の傑作。一生に一度だけ、こんな恋に出逢えたら。今年6月東京公開の最新話題作品。



上映スケジュールのご案内

	18日 Wed.	19日 Thu.	20日 Fri.	21日 Sat.	22日 Sun.
10:00				マイ・フレンドメモリー 萩市民館	ウォレスとグルミット 「ペンギンに気をつける」 ウォレスとグルミット 「危機一髪」 萩市民館
12:00	浮雲 萩市民館	西鶴一代女 萩市民館	東京物語 萩市民館	太陽の少年 萩市民館	宋家の三姉妹 萩市民館
14:00	乱れ雲 萩市民館	雨月物語 萩市民館	秋刀魚の味 萩市民館	恋する惑星 萩市民館	祝祭 萩市民館
16:00	ライフ・イズ・ビューティフル ツイン・シネマ	ライフ・イズ・ビューティフル ツイン・シネマ	ライフ・イズ・ビューティフル ツイン・シネマ		
18:00	ヤジャマン 踊るマハラジャ2 萩市民館				
20:00	ライフ・イズ・ビューティフル ツイン・シネマ	ライフ・イズ・ビューティフル ツイン・シネマ	ライフ・イズ・ビューティフル ツイン・シネマ	宋家の三姉妹 萩市民館	八月のクリスマス 萩市民館
		アンナ・マデリーナ 萩市民館	スパイシー・ラブ・スープ 萩市民館		

18日 Wed. 19日 Thu. 22日 Sun.

(1)17:00 / ツイン・シネマ
(2)19:30

世界が絶賛!!99アカデミー賞で3部門、98カンヌ国際映画祭審査員グランプリを受賞したのを始め、世界各国で賞に輝いた感動の話題作を上映します。

ライフ・イズ・ビューティフル

LA VITA È BELLA

監督：ロベルト・ベニーニ
出演：ロベルト・ベニーニ/ニコレッタ・プラスキ
98年 イタリア 117分

「イタリアの宝」ロベルト・ベニーニに全世界が絶賛！監督・脚本・出演の3役を兼ねたロベルト・ベニーニが現実の悲惨さを強靱な愛と想像力で克服し、「美しい人生」を自らの手で築き上げていく男の姿を通じて、「生命」の素晴らしさを切々と訴えかけてくる大傑作。99年アカデミー賞主演男優賞、外国語映画賞、作曲賞を受賞した今年4月公開の超話題ヒット作。



~優秀映画鑑賞 巨匠たちの作品~

(主催：文化庁、東京国立近代美術館フィルムセンター)

世界的に高く評価されている日本を代表する3人の映画監督の作品を上映します。

成瀬巳喜男(なるせ みきお 1905~1969) 東京都出身。「女性映画の監督」といわれるように代表作はすべて女性が主人公。1930年に「チャンバラ夫婦」で、監督デビュー。戦後、「めし」(1951)に始まる、一連の林芙美子原作作品によって名匠といわれた。

浮雲

13:30 / 萩市民館

監督：成瀬巳喜男
出演：高峰秀子/森 雅之/岡田茉莉子
55年 日本 123分

戦後の日本映画が打ち立てた金字塔の作品の一つ。成瀬巳喜男監督の代表作であり、世界映画史に燦然と輝く名作中の名作。戦時中にインドシナで愛しあった過去を持つ一組の男女の戦後の姿を描いた物語。地の果てまでも男を追うヒロインは、映画が描き得たもっとも鮮烈な女性像のひとつ。



乱れ雲

16:00 / 萩市民館

監督：成瀬巳喜男
出演：司 葉子/加山雄三/森 光子
67年 日本 108分

女性映画の巨匠・成瀬巳喜男監督の遺作。夫を交通事故で亡くした若い美貌の人妻と、その加害者である青年との純愛を描いたメロドラマの傑作。男と女の心の揺らぎに焦点をあてた成瀬監督独自の繊細な世界が広がる作品。

溝口健二(みぞぐち けんじ 1898~1956) 東京都出身。「女性を描かせたら右に出る者のない作家」、「1シーン1カットの長回しで対象を凝視する技法」世界最高峰の映画監督として、フランスのヌーヴェル・ヴァーグ等に大きな影響を与えた監督。

西鶴一代女

13:30 / 萩市民館

監督：溝口健二
出演：田中絹代/三船敏郎/宇野重吉
52年 日本 137分

溝口健二監督が井原西鶴の「好色一代女」をもとに全身全霊を打ち込んで完成させた最高傑作。封建制度の時代に自我をとおそうとした女性の悲劇を優しく、苛烈に描ききった作品。52年ヴェネチア国際映画祭国際賞受賞作品。



雨月物語

16:00 / 萩市民館

監督：溝口健二
出演：京 マチ子/田中絹代/森 雅之
53年 日本 96分

上田秋成の「雨月物語」から脚色された溝口健二監督の名作。男達の欲望と戦争、女の幸せと平和といった普遍的な主題を、戦国時代の二組の夫婦を通じて対比的に描いた作品。53年ヴェネチア国際映画祭銀獅子賞受賞作品。

小津安二郎(おつ やすじろう 1903~1963) 東京都出身。アメリカ映画のモダニズムを取り入れる一方、下町情緒あふれる作品を作りだした日本映画界の巨匠。ローアングルの正面から撮る小津スタイルが特徴で、小市民の悲哀、親子の触れ合いを描いた作品は世界の映画に影響を与えた。

東京物語

13:30 / 萩市民館

監督：小津安二郎
出演：笠 智衆/東山千栄子/原 節子
53年 日本 136分

日本を代表する小津安二郎監督の代表作。老夫婦が成長した子供達を訪ね、期待に反する扱いを受け、軽い失望を味わう。日本の家族制度の崩壊を描いた戦後日本映画の一つの到達点となった傑作。



秋刀魚の味

16:00 / 萩市民館

監督：小津安二郎
出演：岩下志麻/笠 智衆/岡田茉莉子
62年 日本 113分

娘を嫁がせるまでの父親の姿を様々な登場人物を配して丁寧に描いた作品。父親の孤独感が浮き彫りとなり、秀逸した作品となった。日本映画を代表する巨匠・小津安二郎監督の遺作。

世界の秀作

ファミリー・シネマ

ご家族でお楽しみ下さい。

21日 Sat. 10:00 / 萩市民館

マイ・フレンド メモリー

THE MIGHTY

監督：ピーター・チェルソム
出演：キーラン・カルキン/エルデン・ヘンソン
98年 アメリカ 101分

誰にでも、生涯忘れられない友達がいる。足りないものを補いあい、恵まれたものをわかちあうことで、1+1=2以上の力を発揮させてくれる友達が、友情の大切さと友情がいかに人生を変えるかを描いた感動作。今年正月に公開され、熱い涙と感動を呼んだ話題作。小学校高学年から楽しんでいただけます。字幕。



22日 Sun. (1)10:00 / 萩市民館
(2)11:15

日本語吹き替え

ウォレスとグルミット ペンギンに気をつける!

Wallace&Gromit The Wrong Trousers

監督：ニック・パーク
93年 イギリス 29分

ウォレスとグルミット 危機一髪!

Wallace&Gromit A Close Shave in AARDMAN COLLECTION 2

監督：ニック・パーク
95年 イギリス 31分

ちょっとおとぼけな天才(?)発明家ウォレスと彼の忠実なパートナー、利口な犬のグルミットが活躍するクレイアニメーション。プリンやCMにも登場するコンビが繰り広げるスリルとサスペンスとアクションが満載の作品。2作品ともアカデミー賞アニメーション部門最優秀賞を受賞した傑作。幼児から楽しんでいただけます。





HAGI
INTERNATIONAL
FESTIVAL OF FILM ART

第6回 HAGI 世界映画芸術祭

アートドキュメンタリー'99

芸術家たちの活動風景を記録した、アート・ドキュメンタリー。その秀作を集めた映画祭が今年も山口県立秋美術館・浦上記念館で開催されます。ひとくちに、アート・ドキュメンタリーといっても、その幅は広く、画家、音楽家など、各分野のアーティストたちの活動を、様々な角度から映像に収めています。

会場 / 山口県立秋美術館・浦上記念館講座室
観覧料 / 無 料

ビデオギャラリー映画特別企画

フライン・アート、写真、ダンス、音楽、文学・等、現代芸術の先端とそれを捉えた先鋭な映像に触れ絶好の機会。

期 日 / 8月24日(火) ~ 28日(土)
各日とも13:00から

上映作品(日程)

- 24日(火)
ピエール&ジル:ラブ・ストーリー
ボーイ・ジョージの肖像
- 25日(水)
KAWAMATA PROJECTS BY GILLES COUDERT
「椅子の回廊」「椅子たちの旅」「トランスフェール」
ジョン・ガリアーノ
- 26日(木)
ジェルジ・リゲティ
ポール・オースター
- 27日(金)
ダムタイプ / pH
ダムタイプ / OR
- 28日(土)
バナマシニコ
DV8フィジカル・シアター「エンター・アキレス」
DV8フィジカル・シアター「ストレンジ・フィッシュ」

アート・ドキュメンタリー映画特別企画



スペインが生んだ天才画家パブロ・ピカソの創造行為を純粹に映した唯一の映画『ミステリアス ピカソ~天才の秘密~』を上映。

期 日 / 8月29日(日)
3回上映(1)10:00(2)13:00(3)15:00
上映作品

『ミステリアス ピカソ~天才の秘密~』

監督: アンリ=ジョルジュ・クルーゾー
出演: パブロ・ピカソ
56年 フランス 80分

ピカソの全面協力のもと、その友人であったフランス映画の鬼才アンリ=ジョルジュ・クルーゾーが生み出した作品。ピカソが描く画紙の向こう側に置かれたカメラによって、スクリーンいっぱい、一本の線や点が自在に形をなしていくのを体験する。56年カンヌ国際映画祭審査員特別賞受賞作品。

「CINEMA 塾」夏季集中合宿塾生募集



[ゲスト監督]

黒木和雄(1954年岩波映画製作所入社。1966年「とべない沈黙」、1975年「祭の準備」、1990年「浪人街」等の話題作を監督)

1 内 容

映画製作について、塾長の原一男監督とゲスト監督、参加者が徹底的に考え、検証し、映画製作に関わる人材を育成しようという塾です。

2 期 間 平成11年8月19日(木) ~ 22日(日)

3 会 場 萩スカイシネマ、他

4 参加資格 学歴、性別、年齢は一切問いません。

5 参加料 40,000円(3泊4日の宿泊費、食費、交流会費、テキスト代)

6 募集人員 約60名

7 申込方法 規定の参加申込書にて、7月末日までに事務局にご送付下さい。

[塾長・塾プロデューサー]

原 一男(映画監督、監督作「さようならCP」「極私的エロス・恋歌1974」「ゆきゆきて、神軍」「全身小説家」「CINEMA 塾」は95年8月のHAGI世界映画芸術祭での「活動屋宣言」と共に活動開始。昨年の「CINEMA 塾」夏期集中合宿では萩市の離島・見島で映画を塾生と共に撮影。)



もっと本気で映画作りに挑もう!

「CINEMA 塾」塾長 原 一男

「CINEMA 塾」がHAGI世界映画芸術祭で産声をあげて、今年で5年目。

大先輩の映画監督、プロデューサーの諸氏をゲストに迎え、毎年夏、合宿をしながら、本気で映画のことを勉強しようよ、を合い言葉に頑張ってきた。1年ごとに「塾」の中身を濃くしていこうと試行錯誤を重ねてきたが、映画のことを深く勉強しようとするほど、現場が欲しい、という当然の欲求が芽生えてきた。

「CINEMA 塾」塾生たちの力で映画を作ってみよう、という私たちの願い = 夢をHAGI世界映画芸術祭実行委員会が全面的にバックアップしてくれた。

98年、暑かった夏、全国から集まった塾生たちが見島で合宿しながら、島の人たちと出会い、話を伺い、関係を作り、撮影をさせていただいた。そして作り上げたのが『わたしの見島』である。

言うまでもなく、塾生たちは、映画作りに関してはズブの素人である。映画作りとはどんなものか、という興味で集まった素人たちが、見島で生きる生身の人たちを相手に、島で生きていく意味を探り、そのことで、他ならぬ塾生たち自身が、己の生き方を振り返ってみようという契機になれば、というのが塾長である私の狙いであった。

「人は、一人では生きられない」= 被写体である人たちが抱えている家族や村落という共同体の問題と、「映画は一人ではできない」= 個人だけの力量だけでは映画作りは成立しない、というカメラの前と後ろ側の、それぞれの問題を、まさに活きた現場で、体で知っていこうという趣旨であるが、この作業は決して容易ではなかった。

私は、集まった塾生たちに、こう言った。ここに来たのは、苦しむためにきたと思えよ、と。自分の持っている力の150パーセント、いや200パーセントのエネルギーをかけて取り組めよ、と。

素人たちが取り組んだのだから、作品としては未熟でも、彼らの努力を汲んでやって欲しい、とは言いたくない。完成すれば、作品の出来が全てだよ、と塾生たちを叱咤激励し続けた。それでもミスや甘い判断をする塾生たちを怒鳴りつける私の顔が「鬼気迫るものがあつたよ」と、応援に駆けつけた友人が評したくらいだ。本当にきつい作業だったのである。

かくして塾生たちと私が組んだ第1回作品が完成した。欠点が色々あるのは百も承知だが、まずは世の評判にさらされよう。そして次のステップに踏み出したいのだ。

今年のHAGI「CINEMA 塾」夏期合宿は「もっと本気で映画作りに挑もう！」が合い言葉だ。塾長としては、第2回作品に向けて踏み出したいと願っているのだが、映画作りを本気で考えてみようと思す人は、HAGIに集結されたし!!!

'99 HAGI「CINEMA 塾」夏期合宿スケジュール

	19日(木)	20日(金)	21日(土)	22日(日)
			ミーティング	ミーティング
10	(10:00~)【受付】	塾長講義(2)	塾長講義(3)	塾長講義(4)
11	オリエンテーション	【表現したい私って何?】	【ドキュメンタリーとフィクションのボーダーを超える】	【「CINEMA 塾」第2回作品に向けて】
12	昼食	昼食	昼食	【解散】
13	特別上映	映画上映	映画上映	運営の都合上、プログラムの時間が変更になる場合もあります。ご了承下さい。
14	『我ら自身のドキュメント』	『とべない沈黙』	『あるマラソンランナーの記録』	
15	塾長講義(1)	映画上映	映画上映	
	【「CINEMA 塾」とは?】	『さようならCP』	『極私的エロス・恋歌1974』	
16	映画上映	対談 黒木和雄 vs. 原一男	対談 黒木和雄 vs. 原一男	
	『ぼくのいる街』	『我らの時代、何を描いてきたか』	『21世紀に向けて何を描くべきか』	
17	宿舎へ			
18	夕食	夕食	夕食	
19	スペシャルセレモニー	映画上映	映画上映	
20	+ 上映会『わたしの見島』	『竜馬暗殺』	『祭りの準備』	
21	交流会(1)	交流会(2)	交流会(3)	
22	於: 田町イベントホール	於: 他国修行者引講場(有備館)	於: 岩崎酒造の酒蔵	
23	宿舎へ	宿舎へ	宿舎へ	



「CINEMA塾」の映画誕生！ 1999年夏、誕生特別上映会 (8/19・22)

1998年「CINEMA塾」HAGI 夏期集中合宿で映画撮影現場を上げたが、塾生達による現場は僅か9日間。無謀とも思われたこの現場は、先陣隊を含む7月26日に始まり8月22日に終了した。全てが限られた時間の中で、塾生自ら見島島民と関係をつくりながら撮影は行われた。

そして1999年夏...、その映画は「CINEMA塾」第1回作品として完成した。



「CINEMA塾」第1回作品 「わたしの見島」

「CINEMA塾」とは

「CINEMA塾」は、95年8月のHAGI世界映画芸術祭での「活動屋宣言」と共に活動開始。98年の「CINEMA塾」HAGI夏期集中合宿では、萩市の離島・見島で映画制作に取り組む。1999年夏、第1回映画作品を完成させた。

< CINEMA塾 > 萩市で誕生

- 1995年8月19日～25日
夏季集中合宿
テーマ「ドキュメンタリーとフィクション」
- 1996年8月20日～26日
第2回夏季集中合宿
テーマ「時代を切り拓くプロデューサー論&演出論」
- 1997年8月20日～26日
第3回夏季集中合宿
テーマ「助監督論」
合宿の中でビデオ作品
「我ら自身のドキュメント」を制作
- 1998年8月14日～22日
第4回CINEMA塾で映画制作に取り組む。現場は、山口県萩市45キロ沖の見島。
- 1999年8月19日～22日
第5回CINEMA塾夏季集中合宿開催
別記、募集欄をご覧ください。

製作：HAGI世界映画芸術祭実行委員会 / 演出：「CINEMA塾」+原一男

16ミリ/カラー/100分/1999年度作品

特別上映プログラム(上映会場：萩スカイシネマ)

期日	時間	内容
8月19日(木)	スペシャルセレモニー 19:00～(1回上映)	撮影に参加した塾生と映画に登場する人たちを囲みながらの初公開。
8月22日(日)	13:30～ 16:00～(3回上映) 19:00～	主催者舞台挨拶、ゲスト関係者による作品紹介、コメント等の時間が組み込まれます。

鑑賞券：第6回HAGI世界映画芸術祭の鑑賞券をご利用ください。

映画舞台：見島について

見島は山口県萩市の日本海沖にある島民約1,350人の小さな島で、農業漁業を中心とした自然豊かな島。1998年4月全島民の悲願であった高速船が就航。新たな転機が訪れた。

「わたしの見島」映画情報 (山形国際ドキュメンタリー映画祭)

「CINEMA塾」特報「山形プログラム」

シンポジウム

「台湾・日本21世紀に向けてドキュメンタリーの課題」台湾・「全景」で制作された作品と日本・「CINEMA塾」で制作した作品を持ち寄り、上映と呉乙峰監督(台湾)、原一男監督とがテーマを掲げ、ドキュメンタリーの課題に挑む。

期間：1999年10月22日(金)～24日(日)3日間予定
主催：山形国際ドキュメンタリー映画祭実行委員会

台湾「全景」組織について

台湾の国家機関である「行政院文化建設委員会」から予算を受け、その受け皿として「全景伝播基金会」Full Shot Communication Foundationがある。同時にドキュメンタリーの製作プロダクションでもある。「全景」のメンバーは、呉乙峰(ウー・イフォン)監督を軸に、カメラマン、編集者、若いディレクターたちで構成、活動の内容は固定されていない。その製作者の集団が作り出す作品の評価は高く、彼らが作った作品こそが台湾でのテレビのドキュメンタリー史を形作ってきたと言われている。

山形国際ドキュメンタリー映画祭について

1989年のはじまりから10年、回を追う毎に注目を集め、アジアでのドキュメンタリーの拠点となってきた国際ドキュメンタリー映画祭。第6回目を迎える本年は10月19日から25日に開催。2年に一度、世界の映画作家たちが新作・旧作を発表し、情報交換する集いの場と全世界から募集して約15本の長編フィルムを上映するインターナショナル・コンペティション、フォーマットや上映時間の制約を超えてますます活性化させるアジア・プログラムに加え、招待作品の上映、スペシャル・イベントの開催と、さらに豊饒な実りが期待されている。

また本映画祭の創設に大いなる力となった故小川紳介監督の精神は毎回引き継がれ、映画祭開催の原動力となり続けています。特にアジアの作家の関心の高まりはアジア・プログラムの充実とアジアの優秀なドキュメンタリストに贈られる小川紳介賞に反映されてきています。

山形国際ドキュメンタリー映画祭 99

期間：1999年10月19日(火)～25日(月) / 開催地：山形市
(問) 映画祭事務局：tel.023-624-8368 fax.023-624-9618

「わたしの見島」11月東京公開 「CINEMA塾」第1回作品 映画「わたしの見島」は、東京(BOX 東中野 ☎03-5389-6780)で公開いたします。

展示部門

「アジアの風」

8月18日(水)～22日(日) 13時～22時 (21日、22日は9時～22時)

会場/萩市民館小ホール 入場/無料

世界の中のアジアをテーマに、アジアの5つの色(赤、青、黄、緑、白)をキーワードに、子供と大人の両方の視点から、HAGI世界映画芸術祭を発信基地として、アジアそして世界に目を向けて行く空間構成を作り上げます。「アジアの風」を感じて下さい。

ワークショップ部門

「プリント ステーション」

8月18日(水)～20日(金) 9時30分～16時

会場/サンライフ萩 講習室

講師/戸嶋由香(萩市出身・山口県美展優秀賞受賞、日本版画協会展新人賞受賞他、国内外出品多数)

谷村明門(宮城県生まれ・日本版画協会展協会賞受賞他、国内外出品多数)

参加費/5,000円(3日間の材料費)

募集人員/先着50名

申込先/HAGI世界映画芸術祭実行委員会事務局までご連絡下さい。

夏休み版画制作体験企画 PART-2

版の知識と版画の基礎的な表現方法を作品を通して親しみ、版画の魅力を探る。やさしい加工制作を取り入れ、作品の発想と制作過程を紹介しながら、最終日にはサインとエディションナンバーの記入及び額装も行い、制作から作品として展示できる状態になるまでのプロセスを体験できます。

ご案内

料金

前売り = 1回券1,000円、3回券2,500円、5回券4,000円、中・高生券700円、幼児・小学生券500円

当日 = 1回券1,200円

優秀映画1回券1,000円(当日上映2作品)、500円(1作品)

CINEMA塾参加費 = 40,000円

プリントステーション参加費 = 5,000円

前売券購入方法

郵便振替No.01510-1-2656振替名義「HAGI世界映画芸術祭実行委員会」にてお申し込み下さい。折り返しチケットをお送りいたします。お買いになった前売券の払い戻しはいたしません。

プレイガイド/アトラス萩・サンライフ萩・萩市役所受付・長門ウェブ・山口ちまきや・宇部井筒屋・徳山スズヤ楽器店

下関シーモールラン・ローソンチケット・山口県内各シネクラブ(馬関・西京・うべ・周南・いわくに名画クラブ)

交通ご案内

- ・JR東萩駅 = タクシー5分 / 徒歩25分 小学生券500円
- ・JR小郡駅 = バス70分(萩バスセンター下車、徒歩10分)
- ・石見空港(島根県益田市) = バス75分(萩バスセンター下車、徒歩10分)
- ・中国自動車道 = 小郡I.C.、美祿I.C.より各50分

会場

萩市民館	萩市江向495	TEL0838(25)1234
ツイン・シネマ	萩市東田町18	TEL0838(25)1960
萩スカイシネマ	萩市西田町15	TEL0838(26)6872(上映期間のみ)
サンライフ萩	萩市江向523-1	TEL0838(26)1333
山口県立萩美術館・浦上記念館	萩市平安古586-1	TEL0838(24)2400

宿泊のお問い合わせ

萩市観光協会	TEL0838(25)1750
萩旅館協同組合	TEL0838(22)7599
萩民宿組合	TEL0838(25)1534

問い合わせ・申込先

HAGI世界映画芸術祭実行委員会事務局

〒758-8555 山口県萩市江向510

萩市教育委員会文化課内

TEL 0838(25)3131 内線294

FAX 0838(26)3561

TEL・FAX0838(26)6872(直通)

URL <http://www.hagi.or.jp/filmart/>

<http://www.urban.ne.jp/home/hagicity/>

主催/HAGI世界映画芸術祭実行委員会

共催/萩市、萩市教育委員会、萩地区広域市町村圏組合

助成/日本芸術文化振興会、(社)企業メセナ協議会

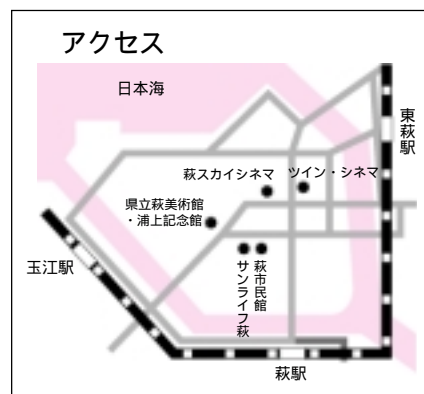
協賛/キリンビール(株)、萩信用金庫、(社)萩市観光協会、萩旅館協同組合、萩民宿組合

後援/山口県、萩商工会議所、朝日新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社、中国新聞社、西日本新聞社、

山口新聞社、NHK山口放送局、KRY山口放送、TYSテレビ山口、YAB山口朝日放送、エフエム山口、

萩ケーブルネットワーク(株)、(株)エフエム萩

協力/山口県立萩美術館・浦上記念館、ユーロスペース、山口県シネクラブ協議会、萩市レクリエーション指導者協議会、山口県映画センター、(株)ムービーポラトピア



(社)企業メセナ協議会認定



芸術文化振興基金助成事業